

愛知県公立大学法人の2024年度業務実績に関する評価結果の概要

全体評価

「存在感と信頼感のある『地域の重要な教育研究機関として活躍する大学』を目指し、自らの強みや特色を生かした機能強化を図り、地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化に取り組む」という中期目標の方向性に沿って
中期計画を順調に実施していると認められる。

項目別評価

大項目	※(1) 小項目	低い 評価 高い				評価 ※(2)	(参考) 前年度
		I	II	III	IV		
①業務運営の改善及び効率化に関する項目	9			8	1	A	A
②財務内容の改善に関する項目	2			2		A	A
③教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する項目	2			2		A	A
④その他業務運営に関する項目	4			4		A	A
⑤教育研究等の質の向上に関する項目	45			34	11	— ※(3)	—

※(1) 小項目評価区分
I：年度計画を実施していない。 II：年度計画を十分には実施していない。
III：年度計画を十分に実施している。 IV：年度計画を上回って実施している。

※(2) 大項目評価区分
S：特に優れた実績を上げている。(特に認める場合)
A：順調に実施している。(すべてⅢ～Ⅳ)
B：おおむね順調に実施している。(Ⅲ～Ⅳが9割以上)
C：十分に実施できていない。(Ⅲ～Ⅳが9割未満)
D：業務の大幅な見直し、改善が必要である。(特に認める場合)

※(3) ⑤教育研究等の質の向上に関する項目(大項目)の評価については、第三期中期目標期間における業務実績に関する評価において評価することとしており、2024年度は事業の外形的・客観的な進捗状況の確認を行った。

評価に当たっての意見、指摘等

・2024年度は中期目標の最終的な達成のため、様々な取組を推進し、中期計画を順調に実施していることは評価できる。

・愛知県立大学では、新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による全学部・複数学部連携型授業の一層の発展や、文部科学省の「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に採択された新たな教員養成プログラムを自治体と連携して開始するなどの地域貢献・連携を積極的に行ったこと、愛知県立芸術大学では、美術学部と音楽学部の合同授業などによる領域を越えた教育の推進や、教員による精力的な芸術活動及び子供向けイベント「こども愛知芸大」の開催などで県民が芸術に親しむ機会の創出や他機関との連携を積極的に行ったことを特に評価する。

・また、業務運営の改善及び効率化に関しては、2大学が連携した教養科目開講の決定や、科学技術振興機構の補助金を活用した高校生向けのアントレプレナーシップ教育プログラムの実施など、様々な連携による大学の魅力づくりを推進したことを特に評価する。

・第四期中期目標期間においては、これまでの取組をさらに発展させ、法人及び2大学の社会的存在感及び信頼感を一層向上させることを期待する。

評価委員会が高く評価した項目(小項目)

①業務運営の改善及び効率化に関する項目
(法人運営)

○ 様々な連携による大学の魅力づくりの推進

⑤教育研究等の質の向上に関する項目
(県立大学)

○ 新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による教育を実施

○ 専門教育における効果的な教育カリキュラムへの見直し

○ 大学院教育におけるコース、カリキュラムの見直し

○ 特色ある教員養成を行うための教育の推進

○ 学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進

○ 県等との意見交換会を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進

(芸術大学)

○ 実技力と芸術性をもつ人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進

○ 学生の将来目標・設計を啓発し、専門を生かせるキャリア支援を推進

○ 教員の芸術活動・研究の推進とその成果の地域還元

○ 研究支援体制の整備、企業等との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組

○ 愛知県や他の自治体、他大学、産業界、文化施設等との多様な連携を推進